

平成16年度実績評価 事務事業進行管理表

事務事業名	ペレットボイラー導入事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目
部等名	産業経済部	課等名	工業課	内線	4433	1	7	1	5	17	3
政策体系上の位置付け	政策	環境・循環型まちづくり		関連計画、 条例等							
	施策	エネルギー対策の推進									
	基本事業										
事業区分	政策的事業	新規、継続区分	継続								
事業期間	16年度～	18年度	環境調整会議の必要性	なし							

【D0】(1)この事務事業は、次の目的を達成することを目ざします。

目的の記述	対象 (人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値 (実績・現状)			
	・飯田市公共施設	ペレットボイラー導入施設数(箇所数)	当初(15)		17年度	0
			16年度	1		
			当初(15)		17年度	
			16年度			
	意図 (成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値 (実績・目標)			
・ペレットボイラーの設置	ペレットボイラー設置数(台)	当初実績(15)		最終目標		
		16目標	1	16実績	1	
		17目標	0			
		当初実績(15)		最終目標		
		16目標		16実績		
		17目標				

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	<p>二酸化炭素排出量を削減する具体的まちづくりと地場産業の活性化を推進するため、当地区における未利用木材から生産される木質ペレットを燃料とするペレットボイラーを導入し、化石燃料からバイオマス燃料への転換を図る。</p> <p>普及啓発効果や環境学習効果が高い公共施設を中心に先導的に導入し、資源循環型社会及び分散型エネルギーの基盤づくりを行う。</p>	<p>木質ペレットボイラー導入(児童課)</p> <p>・飯田市立小保育園(座光寺保育園) 1台</p>	ペレットボイラー導入台数(台)	1
	16年度の実績			
	17年度計画			

<金額の単位:千円>		16予算額	16決算額	17予算額	
事業費	特定国庫支出金	0	4,333	0	
	特定県支出金	0		0	
	財源起債	0		0	
	その他	0		0	
	一般財源	0	2,167	0	
	事業費計(A)	0	6,500	0	
人件費	正規職員所要時間	0		500	特定財源内訳 環境と経済の好循環のまちモデル事業
	臨時職員等所要時間	0		0	
	人件費計(B)	0	0	1,760	
	トータルコスト A+B	0	6,500	1,760	

(3)この事業目的の達成は、次の上位(政策や基本事業)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 (この事務事業の上位目的)	上位成果指標(例:施策の成果指標)と単位	上位成果指標の数値			
	・CO2の削減	CO2削減量(Kg-CO2/年)	16目標	430000	16実績	
			17目標		0	
			16目標		16実績	
			17目標			

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
環境と経済の好循環のまちモデル事業の目的である環境保全をバネにしたまちづくりを推進するため、木質ペレットを燃料とするペレットボイラーを導入し、化石燃料からバイオマスエネルギーへの転換を図り、二酸化炭素の削減と環境学習の先導的モデルとする為。	21世紀環境プランの実行計画である新エネルギー省エネルギー地域計画が策定され、環境目標を達成するためさらに本事業の重要性が増した。	

【 See (16年度の事業評価) 】

目的 妥当性 評価	意図の達成が、結果に結びつくか	(評価) 結びつく (その理由)	成果(達成度)を向上させる余地はあるか?	(評価) 余地がない (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性は?	(評価) 必要性がある (その理由) ・公共施設で導入可能な施設が限定されていることから、ボイラー設置を必要とする民間事業者を開拓すべき。	有効性評価 廃止・休止した場合の影響は?	(評価) 影響あり (その理由) ・南信バイオマス協同組合によるペレット製造が始まったばかりであり、地域内での需要拡大が必要不可欠。
	意図の見直しの必要性は?	(評価) 必要性がない (その理由)	類似事業の有無と統合の可能性(市以外の取組も含む)	(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由) ・補助率が3分の2というメニューは他にはない。
	市が関与する必要性は?	(評価) 必要ある (その理由) ・16年度に南信バイオマス協同組合がペレット製造施設を建設、資源循環型社会の実現に向けた取り組みを具体化するため、ペレットの供給先となる大口需要として関与することで、事業主体を支援することが可能。	効率性評価 成果を下げずに、事業費・人件費の削減は?	(評価) 可能 (その理由) ・全国各地でペレットボイラーの設置を見聞きするようになり、業界におけるマーケットが拡大しているため、ボイラーの事業費を抑えることが可能となってきている。
			公平性評価 受益者は誰か?負担の是非、程度は妥当か?	(評価) 妥当である (その理由) ・ペレットストーブボイラーの普及を公共施設が率先垂範している効果は大きい。

【 Plan(改革改善案) 】

今後の事業の方向性	事業の方向性の具体化 (何を、いつまでにどうするか改革改善案)	改革改善案実施の課題と克服方法
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	時期(年度) <input type="text" value="19"/> ・公共施設での大口需要を確保しながらも、民間需要を喚起していく広報活動を積極的に行う。 ・公共施設における需要と供給先との関係性について、理解しやすい情報発信やイベントを行う。 ・需要を拡大するための戦略立てについて、南信バイオマス協同組合との意見交換を行い、行政としての支援のあり方を明らかにする。	・設置場所の精査と燃料となるペレット価格の安定化が必要。